



令和6年3月1日

3
月号

桜の聖母学院小学校

『令和5年度の階段』

学校長：武藤 浩之

作家の井上靖さんは、ある随筆の中で、人生を「1本の長い階段」にたとえました。1年365日が経つと1段上にのぼる階段です。となると皆さんは今、12段目にいることとなります◆これからも1本の長い階段は続きます。高さも幅も同じではありません。また、ゆるやかだったり急だったりもします◆いかなる階段であろうとも、本校で学んだことを糧に自分の足で乗り越えて下さい。

毎年この時期になりますと、6年生の担当児童から卒業文集に向けて、教職員によるメッセージの依頼があります。そこに寄せた私の駄文を巻頭言の序にしました。文集の発行はまだ少し先のことですが、6年生は既に目にしていますので、こうして聖母小だよりに載せても何ら差し支えはないでしょう。

子どもたちは間もなく階段をのぼり終えます。そこに至るまでの間には、日々の学校生活がありました。諸々の行事がありました。様々な学びがありました。そして保護者の方々のお力添えがありました。これらの全てが、子どもたちが令和5年度という階段をのぼる糧になったことと思います。

卒業文集。卒業練成会。卒業アルバム。卒業式。このところ年度末ならではの言葉をよく見聞きします。学校としましてのひと区切りは修業の日ですが、これもまた少し先のことです。聖母小だよりは本号をもちまして年度の最終号になりますので、今年度もご支援、ご協力を賜りましたことに感謝申し上げ、巻頭言の結びといたします。

「鼓笛移杖式」 2024/2/3(土) 教頭：中津真貴子

卒業、進級を控えた三学期ならではの行事が行なわれました。「鼓笛移杖式」です。

式では、まず初めに6年生最後の演奏が披露されました。6年生が演奏する姿はこれまで何度も目にしてきましたが、いよいよ最後となると、全校生、そして全教員がそれぞれの想いを胸にその勇姿を見つめました。

次に、総指揮者の6年 さんへ さんから、5年 さんへ 指揮杖が引き継がれました。同時に、6年生が使用していた楽器は4年生に引き継がれました。

本校では、この移杖式を、全校生が一堂に会して行なっています。それは、式を通して、下学年も「聖母小の伝統の一つを学ぶ」貴重な機会となるからです。そして、上学年への憧れや期待も高まります。聖母小の鼓笛が、また新たな一歩を踏み出しました。



6年生から、指揮杖は5年生に、楽器は4年生に引き継がれました。



ありがとうございました!!

ご寄付の御礼

★手芸ボランティアより
活動収益よりご寄付いただきました。
心より感謝申し上げます。

資源回収 学校側担当：加藤 いづみ

●先月17日(土)に今年度3回目の「資源回収」を行ないました。毎回、朝早くからのご協力をいただきました。深く感謝申し上げます。(総量は後日報告いたします。)

ベルマーク作業 学校側担当：湯川 洋

●同日に「ベルマーク作業」を行ないました。皆様のお力によりまして、無事に今年度の作業を終えることができました。一年間のご協力に心より御礼申し上げます。

★今回の点数…

……おたずね……

・今回の作業の折に、図書室に筆箱の忘れ物がありました。色はグレーで、ファスナータイプのもので、事務室で保管させていただいております。お心当たりの方はお申し出ください。

おめでとうございます!!

【第68回 福島県書きぞめ展】

・書きぞめ準大賞 4年：
・書きぞめ奨励賞 6年：
*学校としまして、「学校賞」を受賞しました。

【第11回
「今、あなたに贈りたい漢字コンテスト」
・小学生部門 佳作 3年：

ようこそ！聖母小へ！

◆2名の転入生を迎えました。
よろしくお祈りします。

2年… さん
4年… さん

「駐車証」返却のお願い

●修業日までに担任に返却してください。

・三役 ・クラス委員
・環境委員 ・ベルマーク委員
・ボランティア(手芸, 工作, 図書, 未就園児)
・「心と教育の集談会」参加者

卒業練成会&卒業ミサ 2024/2/21(水)

6年担任：原田 聖士

今年度は北川大介神父様をお招きして、「卒業練成会」と「卒業ミサ」を行ないました。

卒業練成会では、6年間の成長を振り返りました。その中で、子どもたちは、学力、生活力、運動技能など様々な力が向上したと自分自身を見つめていました。北川神父様は、「それらの成長には誰かの支えが必ずある」とお話しされました。子どもたちからは、「家族」「友だち」「先生」などが拳がり、身近な人の支えを改めて感じました。卒業ミサでは、子どもたち、保護者の皆様、教職員が心一つにして神様のお恵みに感謝をしました。厳かでもとても良い時間を過ごすことができ、嬉しく思います。練成会とミサを通して、子どもたちは卒業に向けての「心」の準備ができました。あと残り少ない小学校生活となりましたが、最後まで充実した日々を送ってほしいと願っています。

★ ★

私たちは、卒業練成会と卒業ミサを通して、北川神父様からたくさんのお話を学びました。普段自分の良いところや足りないところについてあまり考えないので、練成会では自分のことを振り返ることができました。ミサでは、神父様から「私たち一人では何もすることはできないが、神様とつながっていればたくさんのお祈りができる。」というお話があった。周りの人と協力しながら行えば様々なことができるようになるので、人との関わりも大切にしていきたいと思った。私は、聖書の「タラントンのたとえ」で学んだように、これから失敗することを恐れずに、自分の持っている力を周りの人たちのために使っていけるようにしたい。そして、私のなりたい自分、神様が望む自分になれるように中学校でも頑張っていきたいと感じました。



「ミサ聖祭」(修道院聖堂にて)
北川神父様とともに、自分自身と静かに向き合いました。